



▲多くのお客さまとともにお点前を拝見しました

山陰のある町を訪問して、見上げた夜空には満天の星が輝いていました。しばらく眺めると流れ星が山の端に消えていきました。その町に住む人々には、何気ない日常の風景でしょうが、無限の宇宙を感じた秋の夜でした。

◆10月6日、大中の県立考古博物館で第38回東はりま大茶会が開催されました。この大茶会は毎年8市3町の持ち回りで開催されていて、今年は播磨町での開催となりました。当日はお天気もよく10月とはいえ汗ばむくらいの気温の中、大勢のお客さまをお迎えして、盛大に開催されました。講堂に播磨町席、体験学習室に加古川市席と2席が設けられ、和服姿の茶道家などで博物館は終日雅な雰囲気になりました。いにしへのロマン漂うこの地で、日本文化の神髄である茶の湯を楽しんでいただいたことは、播磨町としてもうれしい限りでありました。

数々の素晴らしいお道具類を拝見し、おいしいお抹茶をいただいた秋の一日でしたが、播磨地域の皆さまに播磨町と博物館を知っていただくいい機会になったのではと思います。現在、博物館と郷土資料館では特別展を開催中で、11月2日には大中遺跡まつりを開催します。どうぞ皆さまおそろいでお越しくださいませ。

◆9月議会で「土山駅南町有地の土壌対策」と土地利用のための「アドバイザー事業」の予算が賛成多数で可決されました。化学工場跡地を買収して以来、南側には病院を誘致しましたが、残された約5,000㎡の土地利用を検討する中で、新たな調査を行った結果、土壌の一部で改良が必要となりました。現在、以前の持ち主にも費用負担を求めているところです。土壌改良後は、すでに策定されている活用方針に基づいて事業者の募集を行い、商業施設なども含めた開発で駅利用者と周辺住民の利便性を高めていきたいと思っています。土山駅南町有地が新たな一歩を踏み出しました。

播磨町長 清水ひろ子

消防団水防救助訓練を実施

危機管理グループ ☎079(435)0991



播磨町消防団は、加古川市防災センターの訓練用プールにて加古川市東消防署員の指導のもと、着衣水泳訓練、救命胴衣着用訓練、救助訓練を実施しました。

近年、局地的な大雨や台風に伴う被害、また南海トラフ地震による津波などの災害が懸念されています。また、本町はため池が多くあるとともに、海釣りをする人が多く、水難事故も数件発生しています。

消防団は、水害時には水防団として活動しますが、水防活動中に、川や池また海に誤って転落した場合、また溺れている人を発見した場合の対処方法について、身をもって体験し、真剣に訓練に取り組みました。

消防団では各分団に救命胴衣を配備するとともに、今後も定期的に訓練を実施していきます。

町内で10年ぶりに大茶会が催されました

生涯学習グループ ☎079(435)0565



県立考古博物館で10月6日に催された第38回東はりま大茶会に、町内近隣だけでなく広く8市3町から公共交通のほかマイクロバスや乗り合わせた乗用車などで足を運んだ約700人のお客さまが訪れました。

加古川市席と播磨町席の2つの席で設けられ、各席11席の総入れ替えでお客さまをお迎えしました。各流派のお点前と貴重な茶道具のご披露でおもてなしをされました。

楽屋裏

秋、外でのイベントに参加しやすい季節になりました。今一度、広報はりまを読み返してチェックしてみませんか？

今月号では、大中遺跡まつりとその前夜祭、子育ての講座やまちづくりの講演会、スポーツイベント、コンサートやクリスマスの準備など、そして、先月号でご案内した資料館特別展、菊花展、美術展も見逃さないように。また、学校・園でも地域に開放された行事が多くあります。

私も広報の取材のためにできるだけ多く足を運んでみたいと思っています。会場で皆さまとお会いできることを楽しみにしています。

(宮)

民生委員・児童委員協力委員が表彰されました

福祉グループ ☎079(435)2362



9月18日に開催されました第62回兵庫県社会福祉大会において、民生・児童協力委員として20年以上にわたって民生委員・児童委員に協力し、社会福祉の向上に尽くされている4の方が、知事表彰を受賞されました。

▶受賞された皆さん。左から

大辻清美さん(南大中)、藤原好子さん(上野添)、松林亀美子さん(北本荘)、佐伯英治さん(野添城)

日本更生保護女性連盟会長表彰を受賞

企画グループ ☎079(435)0356



更生保護に協力し、誰もが心豊かに生きられる明るい社会づくりをめざして活動している日本更正保護女性連盟から、籠谷順子さんが会長表彰を受賞されました。籠谷さんは、長年にわたり、播磨町で青少年の非行について取り組み、犯罪・非行の防止の呼びかけや、少年院に入所している人々への支援に尽力されました。籠谷さんは、「これからは播磨町が、非行がなく明るい社会になるよう目指していく」とお話されていました。

山元町からの手紙

大中遺跡まつりで山元町のリンゴが販売されます！ 山元町には“アップルライン”と呼ばれるリンゴ畑の並ぶ道があり、この時期は車に乗っているままでも手をのばせば届きそうなくらいリンゴで埋め尽くされています。

大中遺跡まつり当日は1個150円、1,000個を販売し、売り上げの一部は山元町への寄付金となります。当日は、販売するリンゴを愛情たっぷり、手塩にかけて育てたリンゴ農家の方も来町します。宮城県内有数の生産量を誇る山元町のリンゴをこの機会にぜひ味わってください！ 廣岡千春



※震災復興支援のため、播磨町職員が宮城県亶理郡山元町に派遣されています

播磨町ふるさと賞 西森 龍馬君(本荘)

企画グループ ☎079(435)0356

播磨町ふるさと賞は、スポーツ、文化の分野で、めざましい活躍をし、町民に希望を与え、播磨町の名を広めた個人または団体に対し、その栄誉をたたえ贈るものです。平成8年度に創設し、西森君で21人目となります。

西森龍馬君(播磨南中学校3年生)は、8月に開催された第40回全日本中学校陸上競技選手権大会の110メートルハードルで全国第1位の栄冠に輝かれました。



西森君は、「全国大会の決勝という大舞台で、自己ベストを更新する最高の走りができた。本当にうれしかったし、応援に駆けつけ家族も涙を流して喜んでくれた。10月下旬にあるジュニアオリンピックでも、優勝を目指して頑張りたい。そして、これからも陸上を続けていきたい」と話してくれました。

町長からは、「今後も練習に励まれ、7年後の東京五輪で、日本代表として活躍されることを期待しています」とエールを述べられ、記念の楯が贈られました。

わんぱく はりまっこ



8カ月

まっばら ゆう
松原 悠くん(古宮)

いつも可愛い笑顔に癒されているよ
パパ・ママより
※撮影時の年齢です。